



西幼だより

羽島市立西部幼稚園
令和6年7月1日 No. 6
園長 安藤賢治

平和の詩 「これから」 (沖縄慰霊の日)

◆私事で恐縮ですが、青年時代の7年間、沖縄県民でした。
すべてを吸収する多感な時期、“沖縄戦”の実相が正面から迫ってきたことを覚えています。
それ以来、6月23日は、立ち止まり『今』を考える日となっています。(沖縄の学校は、お休み)

＜慰霊の日＞ 今年も、正午から「沖縄全戦没者追悼式」が営まれました。

毎年、私の関心の一つが、『平和の詩』です。今年も鮮烈でした。

これから
宮古高校3年 仲間友佑

短い命を知ってか知らずか
蝉が懸命に鳴いている
冬を知らない叫びの中で
僕はまた 天を仰いだ

(中略)

誰のための誰の戦争なのだろう
会いたい、帰りたい
話したい、笑いたい
そういくら繰り返そうと
誰かが始めた争いが
そのすべてを奪い去る

(中略)

それでも世界はまだ繰り返している
七十九年の祈りでさえも
まだ足りないというのなら
それでも変わらないというのなら
もっともっと これからも
僕らが祈りを繋ぎ続けよう

(中略)

今年もこの六月二十三日を
平和のために生きている
その素晴らしさを噛みしめながら

*You Tubeなどで、「平和の詩」検索してみてください。

私のお勧めは・・・「こわいをして、へいわがわかった」徳元穂菜さん (R4 当時：小2)

「生きる」相良倫子さん (H30 当時：中3)

「みるく世がやゆら」知念 捷さん (H27 当時：高3)

➤ “今を生きる” “これからを生きていく” 私たちや子供たちの未来永劫に願う『平和』です。



命と宝

この言葉の意味を伝え続けます。

← 沖縄県花<デイゴ> 花言葉は「愛」「生命力」「活力」

♪でいごの花が咲き 風を呼び 嵐が来た

・・・海よ 宇宙よ 神よ いのちよ

このまま永遠に夕風を・・・(島唄より)

* * * *

■信じられない事件が起きています。それも、保育現場における保育者によるもので常軌を逸した言動の数々です。報じられる度に胸が痛みます。子供本人やご家族をはじめとする方々の幸せを願う気持ちを第一にして、今一度、子供たちの未来に向けてみんなで進んでいく覚悟の確認です。

た)「梅雨」は、嫌なだけじゃないよ。 <あじさい&カタツムリ> <にぎやかな海の中>



た先生が、イメージアツテ！
*ぱと明るくなつた教室の壁面



ひ)「暑い夏」を、乗り切ろう！ <ひまわり&クワガタ・カブトムシ> <かき氷>



外遊びで人気の
シャボン玉
↓
(これを…！)
↓
>シャボン玉アート
・トイレット
　　^°-^°-芯
・排水溝ネット
・シャボン液に
　　絵の具
*吹き付けると！

な)絵本の世界「カラスのパン屋さん」
自分だったら…とイメージしたパン
*子供の世界は、奥が深くて楽しい～



な)これも、絵本の世界「スイミー」
みんなで作ったBIGサイズ
*「見て見て～！」と自慢の作品



な)「七夕」「夏祭り」に向けて
着々と準備中 →
*組立に集中…個性的なワニ作成

